

シューベルト D911

Schubert

冬の旅

Winterreise

日本語字幕付き

バリトン 井口 達

ピアノ 井内 沙織

2025

札幌 3.7 ⑤ 19:00開演 (18:30開場)

六花亭札幌本店 ふきのとうホール

一般: 3,000円 学生: 1,000円 全席自由

チケットお取り扱い

札幌公演

GETTIIS (ゲッティーズ)

<https://www.gettiis.jp/event/detail/101136/TI20250307>

道新プレイガイド 0570-00-3871

札幌市民交流プラザチケットセンター (札幌市民交流プラザ2階)



東京 3.13 ⑥ 19:00開演 (18:30開場)

ルーテル市ヶ谷ホール

一般: 3,500円 学生: 1,500円 全席自由

東京公演

GETTIIS (ゲッティーズ)

<https://www.gettiis.jp/event/detail/101136/TI20250313>

伊那公演

GETTIIS (ゲッティーズ)

<https://www.gettiis.jp/event/detail/101136/TI20250316>

伊那文化会館 0265-73-8822

平安堂伊那店 0265-96-7755

酒文化いたや 0265-72-2331

和えの里 0265-76-9608

ニシザワBOOKS&CAFE いなっせ店 0265-77-2255



伊那 3.16 ⑦ 14:00開演 (13:30開場)

伊那文化会館小ホール

一般: 3,000円 学生: 1,000円 全席自由

お願い

※就学前のお子様のご同伴・ご入場はご遠慮ください。
※公演の内容が一部変更になる場合もございます。
あらかじめご了承ください。

愛する人との未来を失い、他者とのつながりを失った若者は、厳しい冬の中をひたすらに歩き続ける。幸せだった日々を思いをはせ、孤独と喪失の痛みを抱え、甘い死の誘惑に抗いながら。

シューベルトが死の直前に作曲した、24曲からなるこの連作歌曲は、ドイツ歌曲のみならず全世界の芸術歌曲の歴史に燦然と輝く無二の傑作である。

雪に覆われ荒涼とした大地を歩む若者の前に現れる様々な事物。たとえば軋む風見鶏、凍り付いた川、優しく葉を揺らす菩提樹、つきまとう鴉、吠え続ける犬、春の夢、嵐、墓場、そして辻音楽師。彼らは現実と幻想の境界を越えて若者と私たちに語りかけ、また語り掛けられる。

なぜ若者は歩き続けるのか。この放浪の先に何があるのか。尽きることの無い問いかけで私たちに魅了し続けるこの作品に、ドイツ・ヴュルツブルクのリートデュオ、井口達と井内沙織が対峙する。



バリトン 井口 達 (いぐち とおる)

長野県伊那市出身。東京藝術大学音楽学部声楽科卒業。同大学院音楽研究科修士課程修了。ヴュルツブルク音楽大学声楽マスター取得。BarockVokal Mainzに招待生として参加。ヴュルツブルク大学ドイツ語科および楽理科にて学位取得。同声会賞、アルミン・クナープ歌曲コンクール第3位受賞。声楽を吉江忠男、多田羅迪夫、吉田浩之、モニカ・ビュルゲナー、歌曲解釈をゲロルド・フーバー、指揮法を天沼裕子の各氏に師事。パッサカンタータクラブにて小林道夫氏の薫陶を受ける。

トン・コープマン、リオール・シャンバダール、クリスティアン・ヤルヴィらの指揮でソロを務めた他、ブランデンブルク交響楽団、ラインラントプファルツ州立フィルハーモニー管弦楽団、ベルリン交響楽団、ソルブ国立オーケストラ等と共演。マヨルカ音楽祭(2017年アーティストインレジデンス)を始めとするヨーロッパ各地の音楽祭、ベルリン・フィルハーモニー、ライブツィヒ・ニコライ教会、シュトゥットガルト・シュティフト教会等でソリストとして出演。ドイツ・ヴュルツブルク在住。

ピアノ 井内 沙織 (いうち さおり)

北海道江別市出身。3歳でピアノ、4歳でヴァイオリンを始める。北海道教育大学岩見沢校卒業、ヴュルツブルク音楽大学修士課程修了。第10回ヴァルター・ブランケンハイム記念国際パッサピアノコンクールでファイナルに出場し、ディプロマを受賞。歌曲伴奏者としてはセラフィン歌曲デュオコンクールで2位受賞。これまでにピアノを館村たつ子、水田香、インゲ・ローザ、ミラベラ・ディーナの各師に、歌曲解釈をアレクサンダー・フライシャー師に師事した。現在はヴュルツブルク音楽大学においてピアノソロで博士課程に、歌曲伴奏で修士課程に在籍しさらに研鑽を積んでおり、ゲロルト・フーバー、アンドレア・マリー・バイオッキの各師に歌曲解釈を学んでいる。ヴァイオリンでは、ラインフィルハーモニー管弦楽団、ニュルンベルク交響楽団のアカデミー生として研修をしたほか、PMFオーケストラアカデミーではヴィオリストとしてアカデミーに参加した。これまでにDAAD(ドイツ学術交流会)やステファン・ヘルミン・ヴェルナー財団、ドイツ奨学金などから奨学金を得る。現在はほっかいどう未来チャレンジ基金の奨学生。ピアノとヴァイオリンを生かして、ソロ、室内楽、歌曲伴奏、オーケストラと幅広く演奏活動しており、特に歌曲伴奏ではフランスでの歌曲リサイタルにも招待されている。ドイツ・ヴュルツブルク在住。

